

# 日南市重点戦略 プラン2025

コンセプト 全体を貫く基本的な理念

## 創る。挑む。

～まちの未来を守るために 一歩踏み出そう～

長期ビジョン 将来像

## 住みたい 住み続けたいまち

安心して住み続けられるまち、魅力あるまちを創り、  
選ばれるまちを目指します。

日南市

2025-2029

## 《目 次》

策定の背景と意義	・・・・・・・・	1 ページ
市の現状と市民意識から見た課題	・・	2 ページ
構成と期間	・・・・・・・・	5 ページ
コンセプト	・・・・・・・・	6 ページ
長期ビジョン（将来像）	・・・・・・・・	7 ページ
4つのビジョン	・・・・・・・・	8 ページ
概念図	・・・・・・・・	9 ページ
4つの戦略と重点施策	・・・・・・・・	11 ページ
用語解説	・・・・・・・・	15 ページ

令和2年度から6年度までを計画期間とした  
重点戦略プランでは、  
新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰などから、  
市民の命と生活を守り、  
地域経済を活性化させる取組を優先的に行いながら、  
「選択と集中※1」を念頭に置き、  
子育て環境の充実を図る取組などについて、  
重点的に取り組んでまいりました。

また、東九州自動車道の開通によって  
新たな人の流れが生まれるなど、  
日南市には変革する好機が訪れており、  
第一次産業や観光業の振興において  
一定の成果が現れています。

しかしながらその一方では、  
市民の生活基盤に対する不安は増しており、  
さらに、少子高齢化による生産年齢人口※2の減少や  
激甚化する災害などにより、  
将来に対する懸念が高まっています。

そのため、日南市重点戦略プラン2025は、  
市民生活を守る取組を進めることを前提としたうえで、  
持続可能なまち、選ばれるまちとなれるよう  
未来を創り出す人材の育成や、  
海・山・人の魅力あふれる  
日南市の資源をさらに磨きあげる取組などについて、  
重点的に取り組む戦略性のある計画とします。

※1、※2 P15参照

① 市の現状（人口の推移）

日南市の人口は合併後(平成21年度)から約10,700人減少しています。

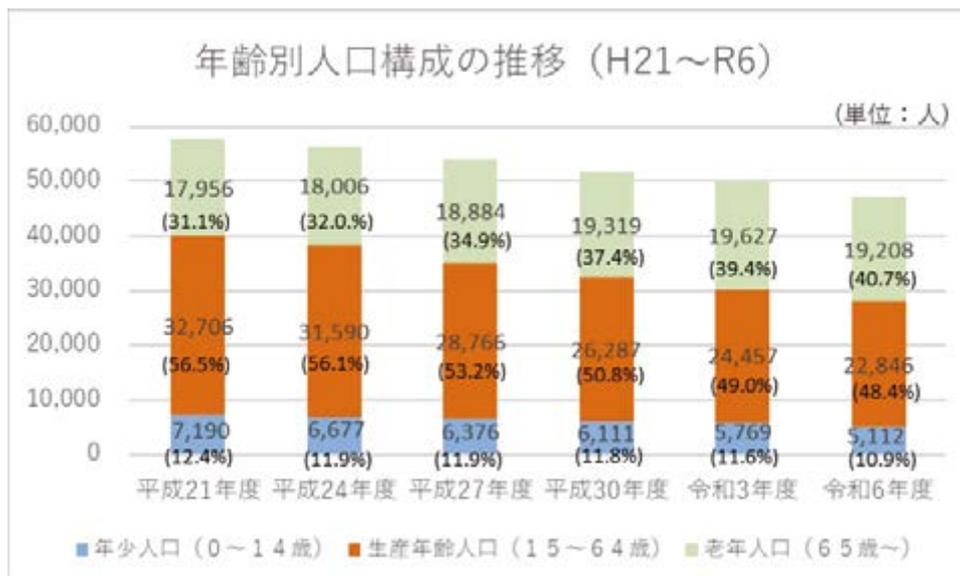


10月1日現在（総合政策課作成）

単位：人

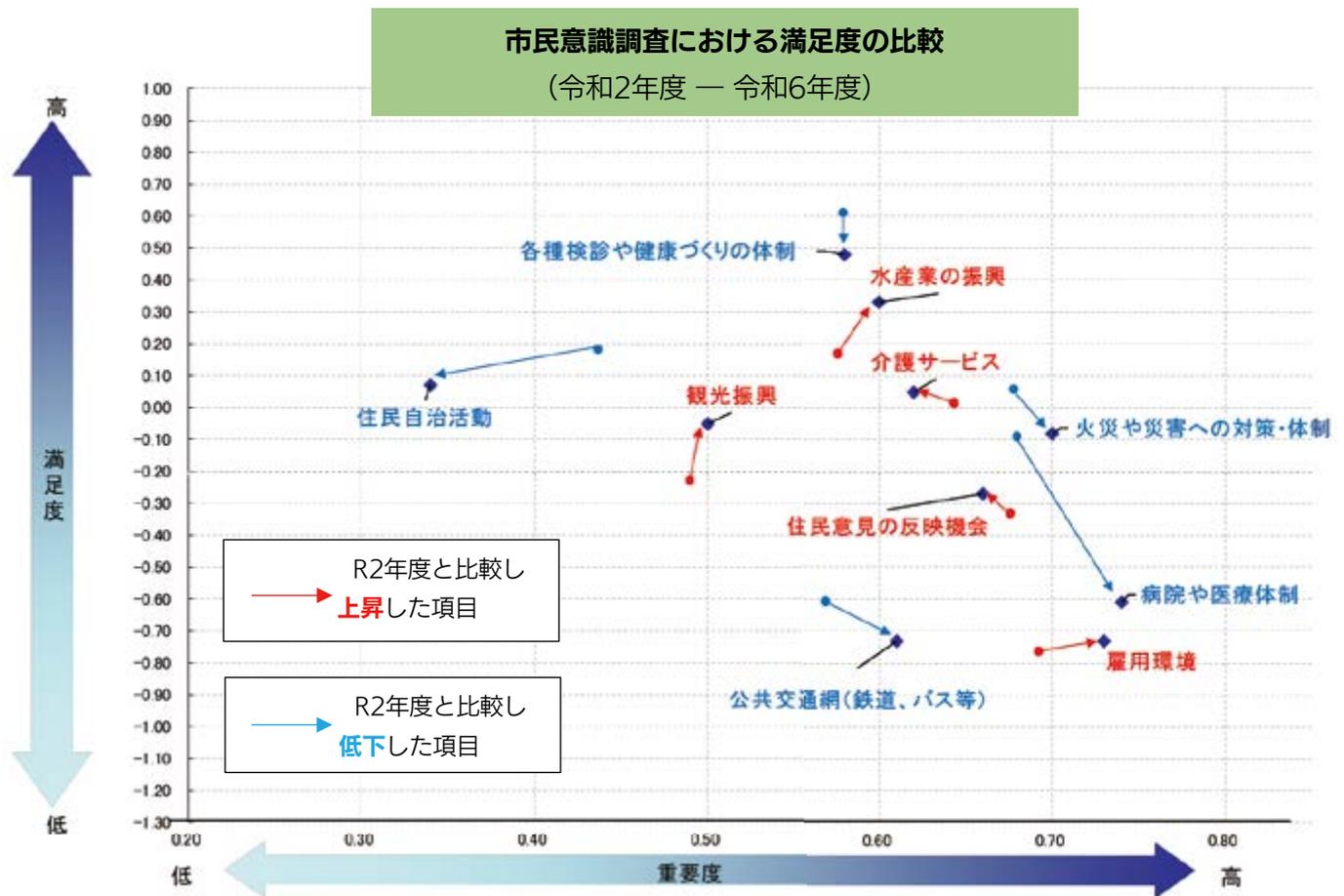
平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度	令和3年度	令和6年度
57,854	56,301	54,090	51,781	49,853	47,166

年齢別人口構成では、生産年齢人口が平成21年度56.5%に対し、令和6年度は**48.4%**に**下降**しています。



10月1日現在（宮崎県現住人口調査）





令和2年度と令和6年度の満足度の変化を、上位5項目で比較してみると  
観光振興、水産業の振興などの項目で**上昇**しています。

一方、病院や医療体制、各種検診や健康づくりの体制の項目では**低下**が見られます。

満足度が上昇した項目・下降した項目 ※5項目		R2		R6		満足度の差
		重要度	満足度	重要度	満足度	
上昇した項目	観光振興	0.49	-0.22	0.5	-0.05	0.17
	水産業の振興	0.57	0.17	0.6	0.33	0.16
	住民意見の反映機会	0.68	-0.34	0.66	-0.27	0.07
	雇用環境	0.69	-0.79	0.73	-0.73	0.06
	介護サービス	0.64	0	0.62	0.05	0.05
低下した項目	病院や医療体制	0.68	-0.1	0.74	-0.61	-0.51
	各種検診や健康づくりの体制	0.58	0.6	0.58	0.48	-0.12
	公共交通網（鉄道、バス等）	0.56	-0.61	0.61	-0.73	-0.12
	住民自治活動	0.44	0.19	0.34	0.07	-0.12
	火災や災害への対策・体制	0.68	0.03	0.7	-0.08	-0.11

※本表の数値は、「満足度」及び「重要度」の回答を一定のルールに従い点数化し、合計値をそれぞれの回答人数で平均した値です。

重点戦略プランは、  
分かりやすく活用しやすいものとするため、  
**本冊と分野別施策集**に区分します。

----- **構 成** -----

**(本冊)**

まちづくりのコンセプトを示すとともに、本市が目指す将来像である長期ビジョンと、長期ビジョンをより具体的に描く4つのビジョン、そのビジョンを達成するための戦略及び重点施策を示します。

**(分野別施策)**

本市のまちづくりを進めるうえでの各分野の課題と、それを解決するための施策を示します。

----- **期 間** -----

長期的な視点をふまえつつ、社会情勢の変化などに柔軟に対応できるよう、計画期間は令和7年度から11年度までの5年間とします。

**コンセプト**は、未来に向けたビジョンとして  
示していくぶれない軸であり、  
まちづくりをすすめるうえでの羅針盤となるものです。

飫肥藩の歴史は、**危機に立ち向かい**、  
**「創造性※3」と「挑戦する心」**で  
**新たな道を切り開く力**を教えてください。  
それが私たちのまちづくりの源泉です。

現在、私たちを取り巻く環境は少子化による  
急速な人口減少と高齢化という  
未曾有※4の危機に直面しています。

この危機を乗り越え、  
大切なまちを未来へつなげていくため、  
次の**コンセプト**を掲げます。



**創る。挑む。**

この**コンセプト**を市全体で共有し、市民一人ひとりがまちの未来について考え、  
一歩を踏み出すことにより、市の明るい未来が見えてきます。

※3、※4 P15参照

人口減少が加速していく中で、  
持続可能なまちとして歩いていくために、  
私たちが目指すまちの将来像

それは、



# 住みたい 住み続けたいまち

**今ある価値**を伸ばし、  
**新たな価値**を創造し、  
**日南らしさ**を魅力に、

このまちに住んでみたい ずっと居たい また戻ってきたい

「住みたい 住み続けたいまち」を創ります。

長期ビジョンの実現に向かって行動が起こせるよう、  
4つのビジョンと戦略を次のとおり掲げます。

**ビジョン1** 誰もがまちづくりに関わり活躍できるまち

あらゆる分野の活力は人であり、全ての人が尊重され、健やかに成長し、活躍できる環境を整備していくことが大切です。  
まちの未来を市民一人ひとりが考え・行動し、そして、未来を担う人材を共に育てることで、活気あるまちを創ります。

**戦略1**  
まちの未来を動かす  
**人づくり**戦略

**ビジョン2** 安心をみんなで作っていきけるまち

暮らしの安心は、日々の生活に関わる環境の向上と、市民が互いを尊重し、支え・助け合う、地域の人々の結びつきが大切です。  
市民の生活に合わせた環境の整備と、人と地域で守る取組を充実させることで、いつまでも安心して暮らせるまちを創ります。

**戦略2**  
地域と共に守る  
**暮らしづくり**戦略

**ビジョン3** 地域の資源をいかし、稼ぐことができるまち

地域経済の活力は産業であり、地場産業の強化と、地域の様々な資源の魅力を向上させることが大切です。  
産業基盤の更なる強化を図ると共に、資源の魅力の向上と新たな価値を創出することで、産業の発展が持続できるまちを創ります。

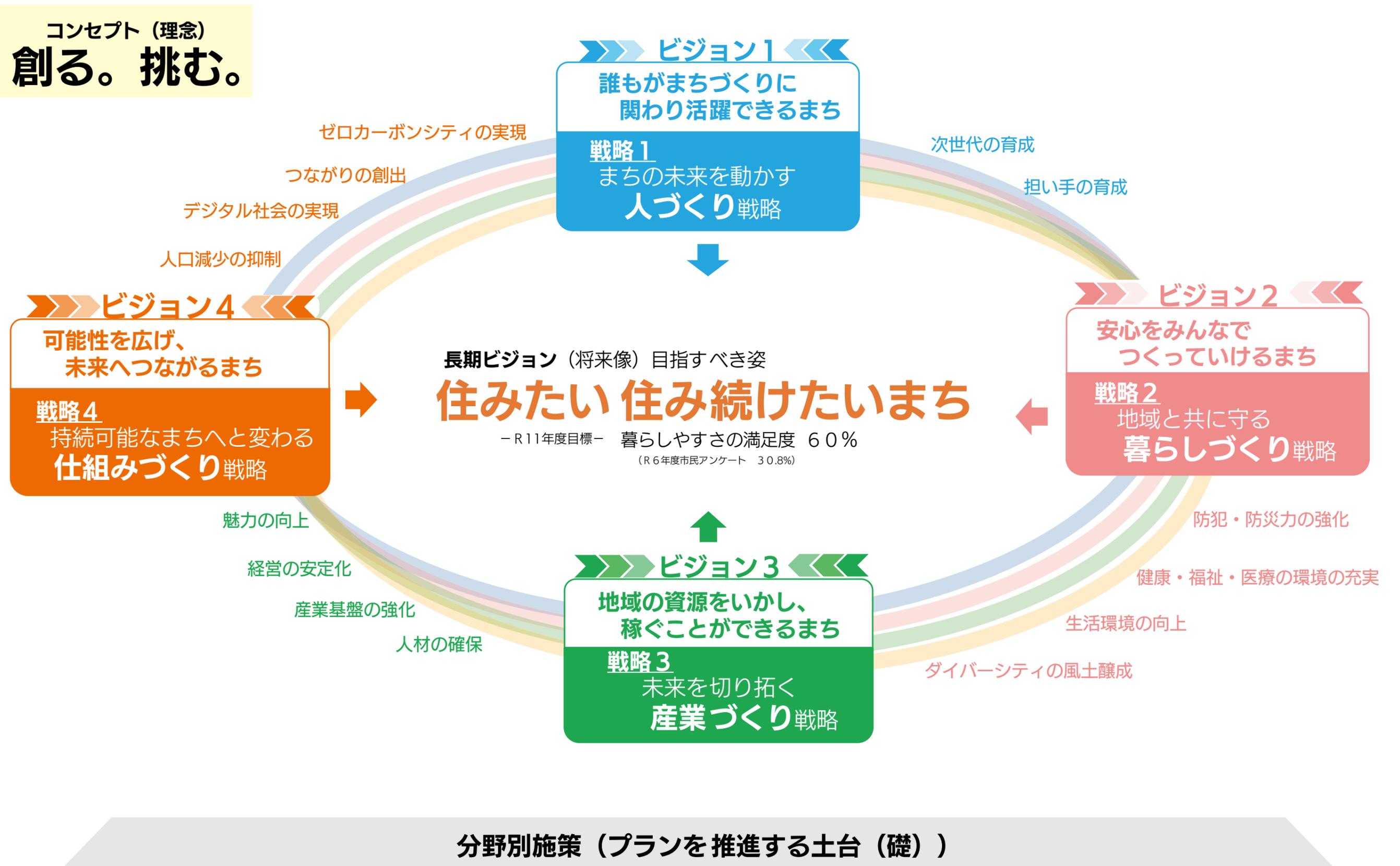
**戦略3**  
未来を切り拓く  
**産業づくり**戦略

**ビジョン4** 可能性を広げ、未来へつながるまち

人口減少社会においては、デジタル社会※5の実現や様々なニーズに合わせた新たな価値の創出、また地域の多様な主体※6との連携など、課題解決の糸口となる仕組みを構築していくことが大切です。  
先端技術の積極的な活用と、ライフスタイルや価値観が多様化した社会に対応することで、人の流れを生み、つながりを広げ、未来へと続くまちを創ります。

**戦略4**  
持続可能なまちへと変わる  
**仕組みづくり**戦略

※5、※6 P15参照





## まちの未来を動かす人づくり戦略

貢献するSDGs



社会の変化に対応できる人間力を育む日南教育の推進と、まちの未来を自分事化し行動する若者や防災・伝統芸能などにおいて活動する地域のリーダー・担い手など、まちの未来を創り出す人材の育成により、誰もが活躍できる活気あるまちを創ります。

### ----- 重点施策 -----

#### 次世代の育成

- ① 児童生徒に応じた教育機会の確保など一人ひとりを大切にする教育の推進
- ② 一人ひとりの児童生徒に応じた学習指導の徹底及び指導方法の工夫改善による学力向上の推進
- ③ ふるさと日南へ誇りと愛着をもち、地域社会に参画する教育の推進
- ④ 全ての児童生徒が安心して学び、相談できる場の確保及びきめ細やかな教育相談体制等の充実
- ⑤ 社会の変化に対応できる人材を育む教育の推進
- ⑥ 小学生から青年層までを対象とした、まちづくりにつながる人材の育成
- ⑦ まちの未来を自分事化し、行動する若者の育成

#### 担い手の育成

- ① 地元企業や関係機関等による企業人材育成の場づくり >>> 関連 **戦略3**
- ② 郷土芸能の担い手確保及び継承に係る活動支援
- ③ 運動・スポーツ推進を担うコーディネーターや指導者の育成・確保
- ④ 地域における健康づくりを推進する人材の育成 >>> 関連 **戦略2**
- ⑤ 公共の担い手となる市民活動団体※7等の育成 >>> 関連 **戦略2**
- ⑥ 地域防災力※8の担い手の育成・支援 >>> 関連 **戦略2**

※7、※8 P15参照

戦略  
**2**

地域と共に守る暮らしづくり戦略



市民が互いを尊重し助け合うことで、地域での暮らしの安全を守るという意識を高めるとともに、行政と一体となった防災・福祉・医療など生活環境の充実を図り、安心して暮らせるまちを創ります。

----- 重点施策 -----

**防犯・防災力の強化**

- ① 避難行動要支援者※9に対する、行政、地域等が一体となった支援体制の確立
- ② 様々な広報手段の周知と運用による災害時の情報伝達の充実
- ③ 避難訓練や防災講話等による地域防災力の強化
- ④ 地域の自主的な地域安全・防犯活動等への支援

**健康・福祉・医療の環境の充実**

- ① 健康教室の開催や健診等の受診率向上による「健康寿命※10延伸」の推進
- ② 医療機関及び医療人材の確保による地域医療※11体制の維持 ▶▶ 関連 **戦略4**
- ③ 介護人材の確保による介護現場及び地域包括ケアシステム※12の維持
- ④ 地域や関係機関との連携による子どもの虐待や貧困家庭の早期発見と支援
- ⑤ 障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会の実現 ▶▶ 関連 **戦略4**
- ⑥ 複雑化・複合化した福祉支援ニーズへの対応や支援体制の構築

**生活環境の向上**

- ① 地域の支え合いで地域課題の解消に取り組む仕組みづくりの推進 ▶▶ 関連 **戦略4**
- ② 特定空き家※13等対策の推進による良好な住環境の保全
- ③ まちづくり等と連携した良好な居住環境を提供する公営住宅の整備
- ④ 公共交通体系の継続的な見直しによる利便性向上
- ⑤ 輸送資源※14の総動員による移動手段確保への取組の推進
- ⑥ 交通事業者と連携した運転士確保による公共交通体系の維持

**ダイバーシティ※15の風土醸成**

- ① 日本語教室や国際交流イベント等の機会を活用した在住外国人への生活のサポート
- ② 多様な性※16が尊重され、誰もが安心して生活できる地域づくり
- ③ 性や年齢を問わず誰でも意欲と能力が発揮され、充実した生活を送ることができる社会づくり

※9～16 P15参照



## 未来を切り拓く産業づくり戦略

貢献するSDGs



地域産業を守り、発展させるため、人材の確保や生産基盤の強化に取り組むとともに、様々な魅力溢れる地域資源のブランディングによる日南ならではの魅力の創出とプロモーションによる認知度向上を行い、地域経済の活性化を図ります。

### ----- 重点施策 -----

#### 人材の確保

- ① 東九州自動車道がもたらす、市外人材の流入の促進と市内人材の流出の抑制  
➡ 関連 戦略4
- ② 多様な人材の活用による産業人材※17の確保

#### 産業基盤の強化

- ① 産業課題解決等に向けたアプローチの強化
- ② 法人化を目指す農業者や農業への新規参入を希望する企業などに対する支援
- ③ 県のグリーン成長プロジェクト※18の推進と森林施業の集約化による再造林※19の推進
- ④ 漁港や水産物共同利用施設の機能性及び安全性の強化
- ⑤ 新しいビジネスに挑戦する企業・起業家への支援
- ⑥ 企業誘致の推進に向けた新たな工業団地の整備

#### 経営の安定化

- ① 先端技術を取り入れたスマート農林水産業※20による生産性の向上
- ② 持続的で適切な森林整備と林業経営の効率化の促進
- ③ 市内住宅等への飼肥杉材の利用による地産地消※21の推進

#### 魅力の向上

- ① 多様な地域資源を生かした「日南ならではの」のブランディング※22強化
- ② 効果的なプロモーション※23による地域資源の認知度向上
- ③ イベント等による農林水産物の消費拡大の推進
- ④ データ分析によるニーズを捉えた観光戦略の実施
- ⑤ 自然や歴史的資源・文化遺産の活用による、魅力ある観光づくりの推進

※17～23 P15～16参照



## 持続可能なまちへと変わる**仕組みづくり**戦略

貢献するSDGs



デジタル技術※24の活用や、様々なニーズに合わせた子育て・移住支援、事業承継などつながりの創出、そして、ゼロカーボンシティ※25の実現に向けた取組など、課題解決の糸口となる仕組みの構築により、持続可能なまちへと変えていきます。

### ----- 重点施策 -----

#### 人口減少の抑制

- ① 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援・ケア体制の構築・強化  
➤➤ 関連 戦略2
- ② 人口減少・少子高齢化等の社会構造の変化に対応した持続可能な都市形成
- ③ 移住者の受入支援による、U I Jターン※26の促進
- ④ 出産・子育ての希望を叶える取組の推進
- ⑤ 結婚を希望する若者が結婚しやすい環境整備

#### デジタル社会の実現

- ① 地場企業のデジタル化の推進 ➤➤ 関連 戦略3
- ② デジタル技術の活用による市民サービスの向上
- ③ マイナンバーカード※27の利活用の拡大
- ④ デジタル化の恩恵を受けることが出来ない人の解消に向けた支援

#### つながりの創出

- ① 地域の産業をつなぐ事業承継の推進 ➤➤ 関連 戦略3
- ② 地域社会でつながり支え合う機会づくりと機運の再醸成 ➤➤ 関連 戦略2
- ③ 地域ぐるみで子どもを育てていくための人材の育成や体制の充実による地域学校協働活動※28の推進
- ④ 地域と多様に関わる「関係人口※29」の創出・拡大

#### ゼロカーボンシティの実現

- ① ごみ減量化、リサイクル及び食品ロス※30削減に向けた取組の強化
- ② 市民・事業者と一体となった省エネ・再エネ※31の取組の推進
- ③ 学校や地域等、様々な場での地球環境を学ぶ機会の提供

※24～31 P16参照

No.	用語	掲載ページ	解説
1	選択と集中	1	力を入れる分野を明確にし、その分野に資源を集中させること。
2	生産年齢人口	1,2	生産活動を支える15歳以上65歳未満の人口。生産年齢人口は「社会を担う中核である」とされている。
3	創造性	6	独自性が高く斬新な発想を生み出す能力。想像したアイデアや物事を実際に形にする力。
4	未曾有	6	今まで起こったことの無いこと。
5	デジタル社会	8,14	デジタル技術をさまざまな分野に活用することで、国民が幸せに暮らせる社会。
6	地域の多様な主体	8	産官学金労言など、様々な関係者・団体を指す。 (※産：産業界、官：地方公共団体や国の関係機関、学：大学等の教育機関、金：金融機関、労：労働団体、言：報道機関)
7	市民活動団体	11	市民が自発的に、営利を目的とせず、社会的な課題の解決や不特定多数の利益の増進を目的としてして活動する団体。
8	地域防災力	11,12	地域住民が互いに助け合い、行政と連携して災害に備えることで、地域社会を災害に強いものにする。
9	避難行動要支援者	12	高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する人(要配慮者)のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。
10	健康寿命	12	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
11	地域医療	12	病院やクリニックなどの医療機関での治療やケアにとどまらず、地域全体で住民の健康を支える医療体制を築くこと。
12	地域包括ケアシステム	12	人口減少社会における介護需要の急増という困難な課題に対して、医療・介護などの専門職から地域の住民一人ひとりまで様々な人たちが力を合わせて対応していこうというシステム。
13	特定空き家	12	空家等対策特別措置法上、「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等」。
14	輸送資源	12	自家用有償旅客運送、スクールバス、福祉・介護輸送、施設等の送迎サービスなどの陸上交通に関わる資源
15	ダイバーシティ	12	人種や性別、国籍、宗教、価値観など、さまざまな属性を持った人々が共存している状態。
16	多様な性	12	性別や性的指向、性自認など、人によって様々な側面があることを意味する言葉。
17	産業人材	13	人々が生活するうえで必要とするものを生み出したり、提供したりする経済活動人材。
18	グリーン成長プロジェクト	13	本県の基幹産業である農林水産業分野を中心に、「再造林を核とした、ゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現」を目指すもの。
19	再造林	13	伐採後の跡地に、再び苗木を植えて人工林を作ること。
20	スマート農林水産業	13	ロボット技術や情報通信技術(ICT)などの先端技術を活用して、農林水産業の生産性や収益性を向上させる取り組み。

No.	用語	掲載ページ	解説
21	地産地消	13	地域で生産された農林水産物をその地域で消費する取り組み。
22	ブランディング	13	地域が持つ魅力や資源を活かして、観光客や企業を誘致し、地域全体の活性化を図ること。
23	プロモーション	13	観光地や地域の魅力を発信して、観光客の呼び込みや販売促進を図る活動。
24	デジタル技術	14	業務の効率化や自動化、サービスの創出など、様々な目的で活用される技術。
25	ゼロカーボンシティ	14	「2050年までに二酸化炭素を実質ゼロにする」と宣言した自治体。
26	UIターン	14	<p>UIターンは、以下の頭文字をとった言葉。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターンは、出身地から進学や就職のため転出した後、出身地に戻ること。</li> <li>・Iターンは、出身地にかかわらず、住みたい地域を選び移り住むこと。</li> <li>・Jターンは、出身地から進学や就職のため転出した後、出身地の近隣地域に戻ることに。</li> </ul>
27	マイナンバーカード	14	マイナンバーが記載された、ICチップ付きカードで、券面に氏名、住所、生年月日、性別、本人の顔写真等が表示されているカード。
28	地域学校協働活動	14	学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築し、幅広い地域の方々の参画による、多様な教育活動により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく社会を実現するとともに、学校を核とした地域の活性化を目指す活動。
29	関係人口	14	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々。
30	食品ロス	14	まだ食べられるのに廃棄される食品。
31	省エネ・再エネ	14	太陽・風力・地熱・水力などの自然由来で二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）を排出せずに活用できるエネルギー。

創る。  
挑む。

まちの未来を守るために 一歩踏み出そう

一人ひとりの一歩は小さくとも、  
人から地域、そしてまち全体へ結ばれると、  
ひとつの大きなうねりとなり、  
まちの未来は変わります。

明日に生きる元気、そして未来に生きるために。

人々の暮らしを未来へつなぎ、  
安心して住み続けられるまちを目指します。